広告

個人投資家向け IRセミナー
読売ブリッジサロン　開催報告
――10月11日開催――

主催　読売新聞東京本社広告局
インベストメントブリッジ

■株式会社キリン堂ホールディングス　寺西 豊彦社長

関西中心に約330店舗のドラッグストアをドミナント展開する（株）キリン堂を中心とした持株会社。「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立を基本方針とし、収益力改善、経営効率向上、新規出店による売上高成長をテーマに、17年2月期売上高1160億円、営業利益34.8億円、ROE11％以上を目指す。

■株式会社リプロセル　横山 周史社長

「日本で生まれたiPS細胞技術から次世代の創薬・医療ビジネスを創造し世界中の人々に届ける」ことをミッションとし、iPS細胞の研究試薬や創薬支援、臨床検査事業を展開。豊富な品揃え、世界的研究ネットワーク、世界規模の販売チャネルとネット販売展開が強み。将来的には巨大市場への成長が見込まれる再生医療分野に進出を期す。

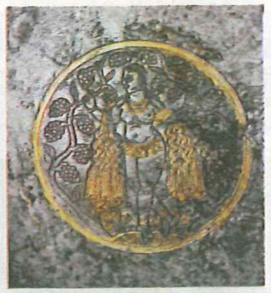
■イーピーエス株

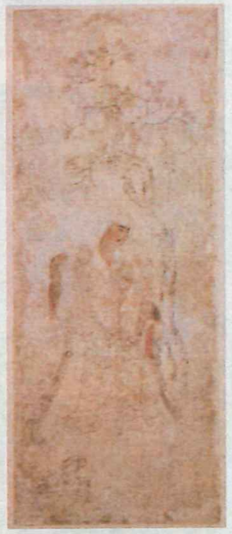
製
品・
供。
ス。
も回
領域の強さ等が特徴。ア
すグローバルリサーチ
ぐ益新事業に注力中。多

樹下美人を求めて　㊦

シルクロード行

豊穣への祈り 結実





㊤銀の皿に刻まれたブドウ樹と女神（タジキスタン国立古代博物館で）㊦鳥毛立女屏風（第2扇、正倉院展に出品）

中央アジア・タジキスタンの首都ドゥシャンベ。国立古代博物館の片隅に、鈍い光沢を放つ銀の皿があった。直径24ｾﾝﾁ、小村にある5～7世紀の墓から出土したという。

鈴なりに実るブドウ樹の下に、妖艶な女神像が刻まれている。両手で枝を握り、足元に清泉が満ちて、水と緑にあふれる楽園を思わせる。

「樹木と女性は生命の象徴です」と研究員のザリーナ・サファノヴァさん(36)が説明した。「ヤクシニーの影響がうかがえます」。ヤクシニーは古代インドの豊穣の女神で、マンゴー樹に手足を絡ませた姿が代表的だ。樹下美人図の祖型の一つという。

中央アジアはシルクロードの十字路と称される。交易の主役は5～8世紀に栄えたソグド人。あらゆるものがラクダの背に揺られて運ばれた。インド伝来の図像もあったかもしれない。この地で樹木がブドウに変化しているのは、2000年前から根付く豊潤の果実だからだろう。

ブドウ畑が広がる北部ホジェンド郊外は収穫期だった。民家もブドウ棚を日よけにしている。「ブドウ棚は風通しが良くて快適。家族で食べきれないぐらい実るのよ」と一家の孫娘、アジザさん(18)。

太古から続く人と自然の営み。樹下美人の意匠は、豊穣への祈りを乗せてシルクロードを東漸し、姿を変容させていったのだろう。東の果て、奈良で結実した至宝が「鳥毛立女屏風」だった。

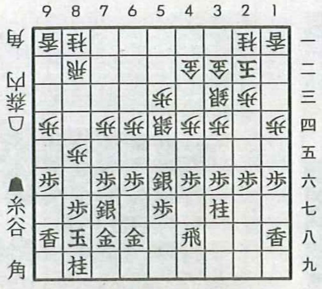
（この連載は大阪社会部 松永喜代文が担当しました）

◇

鳥毛立女屏風は、全6扇中2扇が11月3日まで、東京・上野の東京国立博物館の「日本国宝展」（読売新聞社など主催、会期は12月7日まで）に特別出品されている。4扇は10月24日～11月12日、奈良国立博物館で開かれる「天皇皇后両陛下傘寿記念　第66回正倉院展」（特別協力・読売新聞社）で公開される。

第27期 竜王戦 第1局

ハワイ対局開始



（▲9八香まで）

ヨミウリ・オンラインと読売プレミアムの「囲碁・将棋」コーナーで中継しています

【1日目手順】▲糸谷△森内
▲7六歩△8四歩▲2六歩
△3二金▲7八金△8五歩
▲7七角△3四歩▲8八銀
△7七角成▲同　銀△4二銀
▲3八銀△7二銀▲5八金
△6四歩▲6八玉△6三銀
▲7九玉△3三銀▲9六歩
△9四歩▲1六歩△1四歩
▲3六歩△5四銀▲4六歩
△5二金▲4七銀△4二玉
▲5六銀△4四歩▲6六歩
△7四歩▲3七桂△3一玉
▲4八飛△4二金右▲8八玉
△2二玉▲6八金右△2四銀
▲2八飛△3三銀▲1八香
△4三金直▲4八飛△4二金引
▲9八香
持ち時間各8時間（△2・25分　▲1・55分）49手

【ホノルル＝川村律文】森内俊之竜王(44)に糸谷哲郎七段(26)が挑戦する将棋の第27期竜王戦七番勝負第1局（読売新聞社主催、ＡＮＡ協力）が16日午前9時（日本時間17日午前4時）、米ハワイ州ホノルルのホテル「ハレクラニ」で始まった。

連覇を目指す森内に、初のタイトル戦となる糸谷が挑むシリーズ。立会人の谷川浩司九段の合図で対局が始まった。振り駒で先手となった糸谷は▲7六歩と角道をあけ、森内は△8四歩と飛車先の歩を突き、角換わり腰掛け銀の戦型となった。序盤の駒組みでは双方とも早いペースで指し進めたが、午後に入ると互いに仕掛けのタイミングをめぐる駆け引きとなり、慎重な着手が続いている。

解説の佐藤康光九段は「糸谷七段が工夫して、前例のない形になっている。どちらが先に仕掛けるかはまだわからないが、激しい攻め合いになることが予想される」と話している。

認知症 当事者の団体発足

必要な支援策 自ら提言

メンバー10人「診断後も希望持って」

認知症があっても希望を持って暮らせる社会を目指し、認知症の本人が政策提言などを行う国内初の当事者団体「日本認知症ワーキンググループ」が今月発足した。認知症と診断された本人の視点から必要な支援策を提案するほか、診断された後もよりよく生きるための情報提供、認知症への正しい理解を広げる啓発活動などを行う。

メンバーは、認知症と診断された約10人。共同代表は、認知症に関する講演活動などを続ける鳥取県の藤田和子さん(53)、埼玉県の佐藤雅彦さん(60)、神奈川県の中村成信さん(64)の3人が務める。今後、認知症と診断された人の参加を募る。

参加資格を認知症の本人に限り、政策提言などを目的とした団体は、「これまで例はないのではないか」（厚生労働省）という。活動に賛同した医師や介護関係者、行政職員らが運営を支援する。

診断技術の普及などで、早期に認知症と診断される人は増えている。

しかし、現行の認知症施策は、症状が進行し、介護が必要になった人向けのものが中心。早期診断後の生活について適切なアドバイスがなく、不安で引きこもり、症状を悪化させる人は多い。また、診断を受けた会社員が、周囲の無理解などから退職を余儀なくされる例もある。このため当事者からは、「早期診断、早期絶望」との声も出ている。

グループは今後、当事者の意見を集めて必要な施策をまとめ、国や自治体の政策形成の場への参加を目指す。国が総合的な施策を進めるため、「認知症の人基本法」の策定も働きかける。認知症の本人に役立つ冊子の発行なども行うほか、海外の当事者団体とも連携する。共同代表の藤田さんは、「診断された後も希望を持って生きるにはどうすればいいか。多くの当事者を集め、提言していきたい」と話している。

認知症高齢者は、予備軍も含めて推計800万人以上で、そのうち介護が必要な人は約300万人いる。65歳未満で発症する人も約4万人いると推計されている。

失神ゲーム 中学生3人逮捕

暴力行為容疑 警視庁、1人補導

「失神ゲーム」で少年を繰り返し気絶させたなどとして、警視庁は17日、東京都東村山市の市立中2、3年の少年3人（14～15歳）を暴力行為等処罰法違反（集団的暴行）の疑いで逮捕し、当時13歳だった2年の少年(14)を補導したと発表した。

発表では、4人は8月9日朝、遊び仲間の中学3年の男子生徒(15)を自宅に呼び出し、深呼吸させた後、胸を強く圧迫して気を失わせる「失神ゲーム」を10回行ったうえ、集団で殴るけるなどの暴行を加えた疑い。

男子生徒の母親が同庁に相談し、発覚。4人はインターネットの動画を見て、失神ゲームを知ったといい、「ストレスのはけ口でやった」などと供述している。

失神ゲームは小中学校などで広まっているが、最悪の場合

指摘さ
サイト
介する
000
るとい
報」と
サイト

◆新

蚊を
内感染
月7日
御苑（
に再開

しあわせ小箱

白
芸人
つこ
レン
(69)
をか
「
いよ
依頼
ず出
れた
自
た「
る寄
は4
返し
する
「事

新型iPad 来週発売

【クパチーノ（米カリフォルニア州）＝越前谷知子】米アップルは16日、タブレット型多機能情報端末「iPad（アイパッド）」の新型モデル「iPad Air(アイパッド・エア)2」を日本や欧米、中国などで発売すると発表した。日本では18日から予約を受け付け、来週後半に発売する。

新型アイパッドを発表するティム・クック最高経営責任者（CEO）＝越前谷知子撮影

指紋認証機能を初めて搭載。軽く触れるだけでロック状態が解除されたり、簡単に決済したり出来る。画面サイズは9.7ｲﾝﾁ型で、厚さは6.1ミリと前モデルから1.4ミリ薄くなり、同じサイズのタブレット型端末では最も